

評価基準書

区分	記載項目	評価の視点	評価得点 最低水準点
(1) 執行体制	執行体制について	技術者の役割分担が明瞭で、業務従事者間及び市との連絡調整が速やかに行える信頼性の高い体制となっているか。 相応の能力を有する技術者が配置され、本業務に適正に従事できるか。	20 8
	業務実績	同種・類似業務の実績が豊富で、高い企画力・専門性・独創性を生かした成果をあげているか。	
(2) 業務実施方針	業務理解度	本業務を実施するにあたって、目的、条件、内容等を理解しているか。	20 8
	実施方針の妥当性	本業務に対する考え方や認識が適切であり、それを踏まえた実施方針が妥当であるか。	
(3) 提案内容	拡大処理について	令和5年度に実施したパーソントリップ調査結果のデータの偏りを踏まえ、多様なデータを組み合わせた拡大処理の検討をしているか。	30 12
	交通需要推計モデルについて	令和5年度に実施したパーソントリップ調査結果等を活用し、評価テーマの設定及びそれに対応した指標や、交通需要推計モデルのそれぞれの特性を把握しているか。	40 16
	評価指標の整理について	都市圏が抱える課題を推定し、施策提案することを見据え必要なデータを提示できるような評価指標の検討をしているか。	30 12
(4) 価格	履行期間の委託料の総額 (消費税及び地方消費税を含む。)	(1 - 提案額 / 提案限度価格) × 60点【小数点以下切捨て】	60
合 計			200